

長野県知事  
阿部 守一 様

日本共産党県議団 団長 毛利 栄子

### 9月県議会にむけた申し入れ

1. コロナ感染症は、感染力の強い無症状者が全国的に広がり、県内の感染者も増加傾向にあります。集団感染の危険性が高い医療機関や介護施設、学校教育現場に限らず、クラスターが発生した事業所の周辺や関係者への行政検査が受けられるようにしてください。また、市町村や地域などで自主的に行われている社会的検査に、県として支援をしてください。
2. 命を守る最前線で活動している医療機関では、防護具などの衛生資材が不足しています。県として医療や介護の現場で不足している資材を支給してください。
3. 新型コロナウイルス関連による減収で厳しい経営状況にある県内の医療機関・介護事業所への減収補てんを国に求めてください。また、医療崩壊・介護崩壊を防ぐために県としても独自の支援策を検討してください。
4. 中小企業や観光・飲食業などの経営と働く人の雇用を守るために、今後、自粛要請を行う場合には補償と一体で対応してください。
5. 教育現場におけるソーシャルディスタンスの確保など感染拡大の防止、子どもたちの命を守るとともに学びを保障して継続するため、全国知事会や小・中・高・特別支援学校長会が国に要望している小・中学校と高校の少人数学級の実現を、県としても改めて国に強く求めるとともに、実現のために県独自でも教職員の増員を検討してください。また、特別支援学校の過密解消のために手厚い支援をしてください。
6. リニア中央新幹線の工事は、大量に発生する残土置き場をめぐって各地で災害の発生の危険性が指摘され、住民の不安が広がっています。また、飯田市の新駅建設計画では説明が不十分であること、また、移転条件の改善を求める住民が少なくありません。JRや行政が住民の不安や疑問などに真剣に耳を傾けることが必要です。この計画はいったん立ち止まり、中止を含めた再検討を求めてください。
7. 突風や降ひょうにより農産物に被害を受けた農家に対して、農業を継続できる新たな支援をしてください。この間の一連の災害を受け、県が推奨しているリンゴの新わい化栽培は倒木し災害に弱い状況がみられるので検証してください。

以上